

海外支部設立の動き

インド支部発足。
海外支部も続々と誕生

今年新設の学会支部として、海外支部 13 番目の「インド白門会支部」が 3 月 21 日に発足しました。支部会員は現在 20 名。北インドのニューデリー、グルガオン近辺のマスコミ関係、日本人学校教師、メーカー、金融機関、飲食店勤務など職種もバラエティに富んでいます。小和田宏明支部長は「日系企業の進出が増えている南インドのチェンナイ、パンガロール、ムンバイなどには多くの会員がいるはず。ネットワークをさらに広げて、名実ともに「インド白門会」にしたいと思っている」とコメントしています。

人口世界第 2 位のマーケットとして経済成長著しいインドには、多くの会員と関係企業が進出しています。「将来的には、インド白門会支

部主体で在学学生を受け入れ、OB 訪問や企業研修などに貢献できれば」（小和田支部長）という構想もあるようです。

母校中央大学の「グローバル人材育成」に呼応し、学会は海外で活躍する数多くの会員のネットワークの拡充にも努めています。学会の海外支部は 1962 年に設立されたニューヨーク支部（ニューヨーク白門会）や、日本国内の会員と密接に連携しながら、「LA モデル」として活発な活動を行うロサンゼルス支部（LA 白門会）のほか、シカゴ、サンフランシスコ、シンガポール、バンコク、ジャカルタ、ブラジル、ロンドン、韓国、香港、上海と全世界にあります。

支部の活動は親睦や情報交換会のほ



新設されたインド白門会支部



毎年学生を招いて企業研修を行っている LA 支部

か、現地を訪れた大学関係者や学生の歓迎会に加え、さまざまなサポートもを行い、現地の邦人会のなかでも主要な組織となっているものもあります。海外支部の設立支援は今後の学会の重点テーマの一つと言えます。

新たに支部設立を進めている海外地域もあり、今後ますますグローバル・ネットワークを拡充していく予定です。



ジャカルタ支部、2013 年新年会

PR と人材確保のツールに

白門タウン誌・白門ビジネス誌
掲載店・会社募集中

学会では会員や関係者が経営する店舗・企業を紹介する「白門タウン誌」「白門ビジネス誌」の制作を進めています。これは、一般の方に「白門・中央」を PR することはもちろん、会員が母校や会員の連帯を再確認する機会・媒体となることを大きな目的としています。大企業・有名企業だけでなく、全国の様々な業態で会員が活躍していることを具体的に伝えるツールとして、中央大学のブランドの向上に役立つことを目標にしています。

また、現役学生や父母の方々に対しては、先輩が活躍する企業を知ること、地方や中堅の優良企業の存在を知ることになり、中大生をターゲットにした企業紹介誌ともなります。掲載店、掲載事業所にとっては、企業 PR や人材確保の媒体としても有効です。

2013 年 1 月からの本格的な募集開始にあたり、会員の多くから問い合わせをいただいておりますが、初めての試みということもあり、準備等で募集期間や原稿締切の延長を求める声も多数いただいております。なるべく多数の店

舗・企業を掲載することが、本誌発行の目的にかなうと考え、募集期間・原稿締切を延長しています。

本誌の発行趣旨をご理解いただき、より多くの会員のご参加、ご協力をお願いいたします。



掲載するお店・会社について
タウン誌は地域ごと（「県別」の予定）にまとめて編集し、ビジネス誌は業種などを分類して編集します。地域を指定して掲載したい場合は「タウン誌」をお勧めします。また、業種別のページに掲載したい場合、地域を指定しない場合、求人や企業間取引の宣伝をしたい場合は、「ビジネス誌」に掲載してください。「どちらに掲載すべきかわからない」という場合は、まずは申込書に業種や営業内容をご記入いただきお申し込みください。担当者からご連絡します。掲載申込書は学会のホームページからダウンロードできます。

会員の皆様へ

白門支援金について

実り豊かな会員ネットワークの構築と会員・学生サービスの向上のため、今年 1 月、皆様へお願いしご支援いただきました約 3,100 万円の白門支援金について、学会では 11 月中に用途を明確化し、今年度中に執行してまいります。会員の皆様からのご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

会員・学生支援に総額 3,100 万円を拠出

白門支援金制度は「会員ネットワークの拡充・強化」と「学生諸活動支援」を目的に創設されました。支援金は 支部結成、既存支部活動への支援、白門サロンの開設等会員サービスの推進、学生スポーツの振興・支援、学生の就職活動・各種活動支援……などに用途を明確にして活用していきます。

本年 1 月の『会員時報』において一口 3,000 円以上のご支援を全会員に呼びかけさせていただいたところ、総額 3,100 万円ものご協力を賜りました。現在、具体的な支援方法について検討を行っています。支援先や金額については、公平性、透明性の確保はもちろんのこと、創設目的の達成効果を高めるべくメリハリのある支援金としていく予定です。

具体的な内容としては、上記並びにの会員支援に関

する項目として、ネットワーク充実・強化、ホームページ刷新、白門サロン設置などを支援していきます。また、学生支援の並びに に関する項目としては、まずは「中大スポーツを応援しよう」ということで、会員の皆様の活動をサポートするグッズを作成しました。下記に示しております手持ち式の「中央大学学会の応援ロールバナー」です。

2020 年に東京五輪開催が決定したこともあり、中大スポーツ選手のさらなる活躍を期待し、基礎体力づくり支援策として、運動器具の贈呈も行います。また、学生の震災復興ボランティア支援や就職活動支援も候補の一つです。

来年 1 月には次年度の支援事業資金のご協力をお願い申し上げます。平成 26 年度事業執行に向けて本年度中に昨年以上のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、これら支援先、支援方法等の決定に際しましては、関係支部あるいは大学等との連携を密にとりながら進め、決定事項の適時・適切な開示並びに支援結果の報告をさせていただきます。

「中央大学学会」の
応援ロールバナー登場



箱根駅伝を応援しよう!!

中央大学学会ではこのたび、箱根駅伝や硬式野球部をはじめ各種のスポーツ応援グッズとして、手持ち式のロールバナーを作成しました。大きさは縦 24cm x 横 69cm で、巻き取ることができるため、持ち運びや収納にも大変便利です。ブランドマークを中心に、上下を朱で縁取った目を引くデザインです。皆様の活動をよりサポートできるグッズとなりました。